

Motivation and Creativity
for All Teens.



緊急事態宣言でパソコンの向こうの
子どもたちに話しかけるスタッフたち

認定NPO法人カタリバ

年次報告

2019年度

2019年9月1日～2020年8月31日

どんな環境に
生まれ育っても、
未来をつくりだす力を
育める社会に

KATARIBA
Shape the Future

コロナ時代の分断に 立ち向かった2019



コロナウイルス感染拡大による全国一斉休校に伴い、カタリバは全事業で「オンライン」を導入しました。しかし全国には、インターネット環境がなく、「学校給食」を栄養源として頼りにしてきた家庭があります。さらにコロナで保護者が仕事を失い、困窮は広がりました。そんな家庭の子どもたちが夢を諦めることのないように、カタリバはPCやWi-Fiの貸与、オンラインプログラムの提供、お弁当の配布などを開始。定期的に親子をオンラインでサポートする仕組みもつくり、どんな状況の子どもたちでも、オンラインで世界とつながり、学びを続けられるようにしています。学校再開後は、感染予防を徹底しての居場所運営を行い、2019年度は104,279人の子どもたちを支援しました。

Message from Kumi Imamura

日本中のすべての10代に 意欲と創造性を

2019年度は、豪雨災害支援から始まりました。日頃から応援いただいている皆様のおかげで、発災後3日で子どもたちの居場所を開くことができました。さらにコロナウイルス感染拡大で子どもたちの状況は一変しましたが、これまで以上に多くの方々の応援をいただき、「子どもたちの学びを止めない」ための様々な仕組みづくりに取り組むことができました。日本の格差は広がっています。カタリバは、どんな環境に生まれ育っても、未来はつくれると信じられる意欲と、知りたいことが広がり続ける創造性を手にできる社会を目指して、2020年度も取り組んでいきます。



代表理事

今村 久美

2019年度は新たに4つの事業が増え、 北海道から沖縄まで10の事業で合計104,279人の 子ども・若者たちに活動を届けました。

カタリバオンライン 全国

コロナウイルス感染拡大により、子どもたちの学びが
止まってしまうように、全国**2,649人**の
子どもたちにオンラインプログラムを届けました。

コロナウイルス感染拡大により、学校での学びが制限
されるなか、子どもたちの学びを支援するためオンライ
ンプログラムの提供を始めました。生活困窮世帯に対
しては、端末の貸与も行いました。2019年度はのべ
2,649人の子どもたちが利用しました。



島根県雲南市で、のべ**833人**の小中高生に、
「キャリア教育・不登校支援」を届けました。

島根県雲南市から委託を受けている「おんせんキャンパス」
「教育魅力化推進チーム」は、「少子高齢化」や「人口流出」
など、ふるさとの課題解決を担う人材の輩出を目指し、教
育から地域の魅力化・活性化を応援しています。2019年度
は、雲南市内772人の中高生にキャリア教育を届け、61人
の小中学生に不登校支援を行いました。



外国ルーツの高校生たち**77人**へ

「ナナメの関係による本音の対話」を届けました。

保護者が外国籍であることで学びの機会から取り残されてき
た高校生たちを支援する「外国ルーツ」事業。3つの都立高校
定時制にて、一般社団法人kuriyaとの協働で取り組んでいま
す。2019年度は、77人の高校生にキャリア教育と学習支援を
行いました。



被災地の“放課後学校” コラボ・スクール

女川向学館(宮城県女川町)
大槌臨学舎(岩手県大槌町)
双葉みらいラボ(福島県双葉郡)

1,476人の東北の小中高生に
「未来を思い描く力」を届けました。

宮城県女川町、岩手県大槌町、福島県双葉郡の3拠点で震災
の悲しみを強さに変え、未来を主体的に思い描く力を育むた
めの心のケアと学習支援・キャリア教育を行っています。2019
年度は、1,476人の東北の子どもたちがコラボ・スクールを利
用しました。

高校生の心に、“火を灯す”授業 カタリ場 全国

2,281人のボランティアキャストが
45校、**9,141人**の生徒へ

「ナナメの関係による本音の対話」を届けました。

高校生たちの意欲を高めるキャリア学習プログラム「カタリ
場」を届ける出張型の事業。2019年度は、のべ2,281人のボ
ランティアキャスト・全国の連携団体と共に、45校9,141人の
高校生に「探究心に“火を灯す”授業」を届けました。コロナウ
イルス流行後はオンライン形式でも届けました。



- カタリ場実施地域
- マイプロ地域Summit開催地
- sonaeru活動地域
- コラボ・スクール
- おんせんキャンパス
- Roots
- b-lab
- アダチベース
- 大槌高校魅力化プロジェクト



困難を抱える子どもたち**248人**に、
「安心して学び、集える場」を届けました。

東京都足立区から委託を受け、困難を抱える子
どもたち向けの放課後学校「アダチベース」を運
営しています。2019年度は、2拠点で248人の中
高生を対象に、学習支援の他、食事の提供や体
験活動などを行い、自律する力を育みました。



中高生の秘密基地を**3,062人**が利用しました。

東京都文京区から委託を受け、いつでも、なんでも挑戦できる
中高生の秘密基地「b-lab(ビーラボ)」を運営しています。学習
支援、音楽、スポーツなど様々なイベントを実施し、中高生自身
がイベントに参加、参画する機会を作っています。2019年度は、
文京区に在住・在学・在勤の中高生3,062人が利用しました。



長野県長野市 / 宮城県丸森町 / 熊本県人吉市・球磨村

豪雨で被災した**659人**の子どもたちに
「安心して過ごせる居場所や学習支援」を
届けました。

発災からできるだけ早く、子どもたちに安心安全な
場を届けられるように動く「災害時子ども支援
sonaeru」プロジェクト。2019年度は令和元年台風
第19号で被災した長野県長野市と宮城県丸森町、
令和2年7月豪雨で被災した熊本県人吉市・球磨村
にて、子どもたちが安心して過ごせる居場所「カタリ
バ・パーク」を開設するなど、659人の子どもたちを
支援しました。



マイプロジェクト 全国

全国の高校生**85,984人**が
マイプロジェクトに挑戦しました。

高校生が地域や身の周りの課題を見つけ、解決に向けて実行する「マイプロ
ジェクト」。2019年度は、全国の高校生85,984人に、探究的な学びを促進
するためのサポートを届けました。2020年3月に開催したアワードには、
2,654プロジェクト、8,765人がエントリー。アクションを重ねてきたチーム
や個人が発表を通して学び合い、得た学び・刺激を地元を持ち帰りました。

ご支援いただいた企業・団体の皆さま

教材や備品の寄贈、システムや会場の無償提供、職場訪問など、
さまざまな形で多大なるご支援・ご協力をいただき、心から感謝しています。



サッポロホールディングス株式会社

2011年より継続して、恵比寿麦酒祭りのビール売上相当額の一部を次世代育成として東北・熊本のコラボ・スクールへご寄付いただいている他、飲料水の提供など、さまざまなご支援をいただいています。



ナイキ・インク

2020年より、カタリバオンライン、キッカケプログラムにご寄付をいただいています。また、カタリバオンライン内で子どもたちに向けた身体を動かす運動のコンテンツを提供いただきました。



株式会社大戸屋

2014年より継続して、期間限定メニューの売上の一部を、東北のコラボ・スクールへご寄付いただいています。また、アダチベース（東京都足立区）へは食材のご支援もいただいています。



BofA証券株式会社

2012年より継続して、コラボ・スクール大槌臨学舎（岩手県大槌町）へご寄付いただき、2016年からはアダチベース（東京都足立区）にご寄付をいただいています。



株式会社ウィルグループ

2012年より東北のコラボ・スクールへご寄付いただいている他、特別授業を若手社員の方々と実施。また、災害時子ども支援アライアンス「sonaeru」初の連携先として、協定の締結も行いました。



株式会社マザーハウス

2013年のマイプロジェクト事業立ち上げから支援いただき、継続したご寄付やオリジナルアイテムの制作など、マイプロジェクトアワードの協力企業としてご支援いただいています。



COACH Foundation

2019年よりCOACH財団のミッションである「Dream It Real」の理念のもと、カタリバをパートナーとして迎えていただきました。「Dream It Real」Tシャツの売上の全利益を寄付いただきました。



チューリッヒ・インシュアランス・カンパニー・リミテッド

2020年より、キッカケプログラムを利用する子どもたちに無償で貸与するWi-Fi機器と通信にかかわる費用をご寄付いただいています。



株式会社メルカリ

2020年より、社員様参加型でカタリバ全体の活動を支援する毎月のご寄付をいただくとともに、カタリバオンライン、キッカケプログラムにご寄付をいただいています。



株式会社チョイスホテルズジャパン

2016年より継続して、東北・熊本のコラボ・スクールへご寄付いただいている他、イベントの際は生徒たちの宿泊場所のサポートもいただいております。



テサテープ株式会社

2020年より、コロナ禍でスタートしたキッカケプログラムのプログラム運営費へのご寄付をいただき、また社内への呼びかけによる有志からのご寄付もいただいています。



一般財団法人村上財団

2020年に実施した、コロナによる困窮した子どもへの支援「あの子にまなびをつなぐ」プロジェクトへ発起人としてご支援いただくとともに、マッチング寄付をいただきました。

Slack Japan 株式会社 / ヤフー株式会社 / ドクターリセラ株式会社 / TikTok / モルガン・スタンレー / 古本買取通販ドットコム株式会社 / Twitter Japan 株式会社 / 株式会社ブラスト / プリンセス・クルーズ / Kyuentai e. V. / Laureate Equity Studio AB / MFSインベストメント・マネジメント株式会社 / ピーアークホールディングス株式会社 / 株式会社イカワコーポレーション / 株式会社オフィス・カラーサイエンス / 株式会社美健 / 日亜化学工業株式会社 役員従業員有志一同 / グーグル株式会社 / 日広建設株式会社 / トレックンテ合同会社 / IPGフォトリクスジャパン株式会社 / シオン化学工業株式会社 / ブラザー工業株式会社 / 医療法人結想会ゆいクリニック / 株式会社エイチ・アール・オー / 株式会社アイワホールディングス / 株式会社スターテック / 株式会社ミノワコーポレーション / 株式会社白井ポリマー / 東京マックス株式会社 / 有限会社京林トネリコ

ONE TENTH Project / 明治安田生命保険相互会社 / 株式会社紀伊國屋書店 / 株式会社ドン・ヒラノ / 株式会社ジスクリエーション / アスカ興業株式会社 / 医療法人鳳珠会 / インヴァスト証券株式会社 / 株式会社バリュートックス / アリックスパートナーズ・アジア・エルエルシー / Art Water / アドビ株式会社 / ネスリーフ株式会社 / 医療法人愛和会 / 株式会社オールウィズ / 株式会社コチコンサルティング / 株式会社ヒューベースィ / 税理士法人日本税務総研 / サトコトヨガ / ソフトバンク株式会社 / 光明学園相模原高等学校 / 株式会社ノア商社 / 特定非営利活動法人WE21ジャパンみなみ / 株式会社ダブルエー・ホールディングス / 株式会社セリアンタワー東急ホテル / 八千代特殊金属株式会社 / 株式会社イーエムグループ / 株式会社トスコ / 有限会社アオイ農園 / 印刷通販サイト制作株式会社 / 池田鉄工株式会社 / 株式会社渡辺技工 / Informa Group / 日本アイ・ピー・エム株式会社 有志チーム / スーパーストライククラブ / 株式会社アサノ / 株式会社オライリー・ジャパン / 株式会社フロム・エージャパン / 合同会社DAIKI / 合同会社いい空間 / 有限会社タマ・テック・ラボ / 株式会社富士フィルムヘルスケアラボラトリー 社員会 / フクシマガリレイ株式会社 / 株式会社キリカン洋行 / 株式会社マステック / 滝高校生徒会 / 水天宮

※敬称略 ※他にも多くの企業さま・団体さまからご支援いただきました

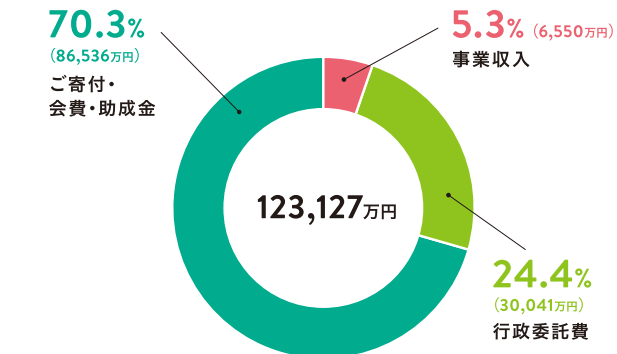
Finance

2019年度（2019年9月1日～2020年8月31日）の財務・会計報告

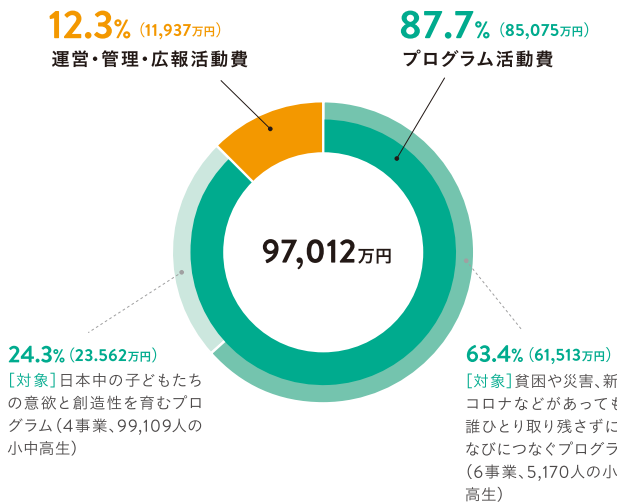
活動計算書（2019年9月1日～2020年8月31日）

（単位：円）		
科目		金額
1 受取会費	正会員受取会費・賛助会員受取会費	4,592,500
2 受取寄付金	受取寄付金・指定正味財産の部より受取寄付金振替額	836,170,258
3 受取助成金等	受取国庫補助金等・受取民間助成金	24,599,992
4 事業収益	人づくりを通じた社会活性化に関する事業収益	741,503
	キャリア学習イベント等活動の企画・実施事業収益	247,918,544
	災害等により学習環境に恵まれない人たちのための通信教育・学習相談その他の教育事業収益	112,523,145
	普及啓発事業収益	2,138,773
5 その他収益	受取利息・受取配当金・雑収入	2,585,958
経常収益 計		1,231,270,673
1 事業費	人件費	406,673,979
	その他経費	531,114,708
	事業費 計	937,788,687
2 管理費	人件費	15,235,823
	その他経費	17,104,642
	管理費 計	32,340,465
経常費用 計		970,129,152
当期経常増加額		261,141,521
経常外収益		1,213,889
税引前当期一般正味財産増加額		262,355,410
法人税、住民税及び事業税		548,000
当期一般正味財産増加額		261,807,410
前期繰越一般正味財産額		467,199,773
次期繰越一般正味財産額		729,007,183
1 受取寄付金		70,055,540
2 受取助成金		10,662,726
3 一般正味財産への振替額		188,687,213
当期指定正味財産増加額		▲107,968,947
前期繰越指定正味財産額		347,937,854
次期繰越指定正味財産額		239,968,907
次期繰越正味財産		968,976,090

収益の内訳



費用の内訳



2019年度、カタリバは国内で7つの常設施設を運営し、令和元年台風第19号と令和2年7月豪雨での災害支援を含む、104,279人（前年度比42,502人増）の10代の子どもたちへの支援・伴走を行いました。経常費用は97,012万円。前年度比で9,981万円（11%）の増加となりました。今期の当期経常増加額は26,141万円。来期以降に繰り越し、複数年の事業計画を基に事業推進に充当していきます。東日本大震災被災地への寄付は前年度に引き続き減少傾向にあり、昨年同様指定正味財産の費消となっております。近年毎年のように起こる災害時の子どもたちへの支援活動に加え、新型コロナウイルス感染拡大により、子どもたちが意欲と創造性を持続ける環境を維持することが難しくなっています。今後もより多くの子どもたちに対してプログラムを提供することを通じて活動を広げていきます。

ご寄付について

お電話、もしくはWEBサイトからお申し込み・お問い合わせください。

遺贈・相続・お香典のご寄付も受け付けております。カタリバへの寄付は税制優遇の対象です。

0120-130-227 平日 9時半～16時
03-5327-5667 平日10時～18時

カタリバ お問い合わせ 検索

<https://www.katariba.or.jp/contact>

